

令和5年度

# 生産資材等価格高騰対策の JA福岡市東部の取り組み



世界的なエネルギー価格の上昇や穀物需要の増加に加え、ロシアによるウクライナ侵略等の影響により、肥料、農業資材等の原料価格が大幅に上昇し、その販売価格が急騰していることから、地域農業の生産コストの上昇が発生しています。

JA福岡市東部としては、中期ビジョンに掲げている「輪をつなぐ、農業を守る」の実現と、持続可能な地域農業の振興のため、農業の生産コスト上昇の影響を緩和する数々の施策を行ってきました。

## ① 苗代金の据え置き

●13,041箱の苗代金を**据え置き**(令和4年度に100円値下げ)

## ② 令和5年度予約水稲、畑作肥料農薬価格の値下げ据え置き

●肥料**5品目**の価格**値下げ**

●農薬**22品目**の前年度予約価格での**据え置き**

## ③ 低価格肥料の取り扱い

●「e・green」の普及拡大

JA全農ふくれんと福岡市が連携して、下水から回収した再生リンを肥料原料とした肥料を開発し、肥料価格が高騰する中、循環型社会も見据えた取り組みで、一般の肥料より2割程度安価で販売することとなり、JA福岡市東部としても両社と連携し、「e・green」の普及販売に取り組んでいます。

